

# かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

Vol. **82**

2020 SPRING

**特集**  
名古屋海上保安部 巡視船みずほ  
ヘリコプター2機搭載型  
**二代目巡視船  
みずほ就役**



# かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



Vol. **82**

2020 SPRING

## PHOTO GRAVURE

- 1 海上保安庁 新長官に奥島氏 4代連続で「現場」出身
- 1 海上保安体制強化に関する関係閣僚会議の開催
- 2 インド及びマレーシアで連携訓練
- 2 海上・臨海部テロ対策協議会において旅客船を用いた官民連携テロ対応実動訓練を初めて実施
- 3 第61次南極地域観測隊に女性海上保安官が参加中
- 3 海上保安庁音楽隊3・11伝承コンサートを開催

## [特集]

より大きく、より速く、より快適に

- 4 **ヘリコプター2機搭載型  
二代目巡視船みずほ就役**

## 12 NEWS FLASH

裏表紙

## INFORMATION

海上保安大学校・海上保安学校採用試験  
海上保安官(有資格者)採用試験

海上保安庁 新長官に奥島氏  
4代連続で「現場」出身



1月7日、岩並秀一前海上保安庁長官が退任し、奥島高弘新海上保安庁長官が就任しました。現場出身者の長官就任は、佐藤雄二氏、中島敏氏、岩並秀一氏に続き、4代連続です。

東京都千代田区霞が関にある中央合同庁舎3号館において海上保安庁長官交代式が行われ、岩並前長官から奥島新長官へ庁旗の引継ぎが行われました。

その後行われた長官就任記者会見では、「海上保安庁発足以降、脈々と引き継がれてきた「正義仁愛」の伝統を守り、全職員一丸となって、平和で豊かな海を守り抜いていく」と抱負を述べました。

海上保安体制強化に関する  
関係閣僚会議の開催



関係閣僚会議の様子



発言する安倍内閣総理大臣



巡視船 れいめい



巡視船 しゅんこう



測量船 平洋

令和元年12月20日、平成28年12月以降4回目となる「海上保安体制強化に関する関係閣僚会議」が開催され、同会議において決定された「海上保安体制強化に関する方針」に基づく取組の進捗状況を確認するとともに、海上保安体制の強化を引き続き進めていくことが確認されました。

また、同方針に基づいて平成28年度から整備を進めてきたヘリコプター搭載型巡視船「れいめい」、「しゅんこう」、大型巡視船「みやこ」、大型測量船

「平洋」が令和2年1月から2月にかけて就役しました。

「れいめい」、「しゅんこう」は鹿児島海上保安部へ、「みやこ」は中城海上保安部へ配属され、尖閣諸島周辺海域における領海警備のほか、海上犯罪取締り、海難救助などの業務に従事します。「平洋」は、海上保安庁海洋情報部へ配属され、日本周辺海域において、我が国の海洋権益の確保に必要な海底地形や地質に関する調査等に従事します。

3

インド及びマレーシアで連携訓練



日印海上保安機関長官級会合



インド沿岸警備隊との連携訓練



マレーシア関係機関による  
ファルコン2000見学



マレーシア海上法令執行庁と  
機動防除隊による油防除訓練

海上保安庁は、令和元年12月26日から約1か月間、新潟海上保安部所属巡視船「えちご」をインド及びマレーシアに、令和2年1月21日から4日間、那覇航空基地所属ファルコン2000「ちゅらたか」をマレーシアに派遣し、インドでは関係機関との海賊対処連携訓練や溺者救助訓練などを、マレーシアでは油防除に関するワークショップなどを行いました。

また、令和2年1月14日には奥島海上保安庁長官が訪印し、インド・デリーにおいてインド沿岸警備隊長官と「日印海上保安機関長官級会合」を開催しました。

これらの取組を通じ、日本とインド及びマレーシア間の関係が深化するとともに、インド太平洋地域の海上保安機関等との連携・協力関係の更なる強化が期待されます。

4

海上・臨海部テロ対策協議会において旅客船を用いた官民連携テロ対応実動訓練を初めて実施



海上保安官と橘丸船員が連携した船内捜索



海上保安官、警察官による犯人制圧

オリンピック開会式まで残り半年となった1月24日、東京港竹芝棧橋において、旅客船でのテロを想定した実動訓練を行いました。

海事・港湾業界団体と関係機関などが参画する「海上・臨海部テロ対策協議会」により実施する初めての实動訓練です。

訓練では、旅客船「橘丸」において、テロが発生したことを想定し、関係機関への通報から乗客の避難誘導、不審者の制圧、負傷者の救護までの流れを確認し、海事・港湾業界団体の対応能力の向上及び関係機関間の連携対応能力の向上を図りました。



橘丸船員による避難誘導

第61次南極地域観測隊に  
女性海上保安官が参画中



水温塩分計測



水準測量



観測機器を海に投入する様子



潮位計の確認

海上保安庁は毎年、南極地域において船舶の航行安全の確保、地球科学の基盤情報の収集などを目的とした海底地形調査や潮汐観測を行うために職員を南極地域観測隊に参画させ、南極観測の一助を担っています。

今回、第61次南極地域観測隊に参画している

「池内柚か愛（いけうち ゆかを）」隊員は、海上保安庁としては平成19年以来11年ぶりの女性隊員です。

池内隊員は、令和元年12月2日オーストラリアのフリーマントル港から南極観測船「しらせ」に乗船し南極の昭和基地に向けて出港、約4カ月の観測に従事したのち、令和2年3月22日に帰国する予定です。

海上保安庁音楽隊  
3・11伝承コンサートを開催



地震防災訓練「シェイクアウト訓練」



さとう宗幸さん

2月2日、海上保安庁音楽隊は、多賀城市民会館大ホール（宮城県多賀城市）において「海上保安庁音楽隊 3.11伝承コンサート～いのちを守るために何をすべきか～」を開催し、約920名の方々にご来場いただきました。

演奏会は、東日本大震災復興の願いをこめて発表された「陽はまた昇る」で幕を開け、震災経験者の皆様によるスピーチや、地震防災訓練である「シェイクアウト訓練」を実施しました。

そして、「青葉城恋唄」で有名な歌手のさとう宗幸さんとの共演や、宮城県多賀城高等学校吹奏楽部とのコラボで、海上保安庁音楽隊30周年記念委嘱曲「GUARDIANS OF THE WAVES」や、ラテン風のナンバー「コパカバーナ」、震災復興支援チャリティーソング「花は咲く」などをお届けしました。



令和元年8月22日、名古屋海上保安部に巡視船みずほが就役した。昭和61年から30年以上に渡り活躍した初代みずほに次ぐ二代目。ヘリコプターを2機搭載するPLH型、総トン数6,000トン、全長134mという国内有数の大型巡視船で、離島や遠方海域を始めとする我が国周辺海域の治安維持と海洋権益の確保、遠洋での海難救助、大型船舶の曳航、さらには大規模災害への対応など、幅広い活躍が期待されている。

先代みずほから引き続いて二代目みずほの指揮を執る原田敬司船長はその特長を「船体は5,300トンから6,000トンへと大型化し、速力も最大23ノット以上から25ノット以上へと高速化しています。定員は6人増えて56人。ヘリコプター（ベル412）2機と高速警備救難艇を搭載し、遠隔監視探証装置、停船命令等表示装置など先代も装備していた機器に加えて災害時に他船や陸上部への給油給水、給電システムを備えています。武器は20mmと40mmの機関砲を装備。高性能なエンジンを搭載し、バウスラスター（船首を横方向に動かすための動力装置）も高機能化・高馬力化して操縦性能も向上しました。性能だけでなく機能も増えていますから、それらの性能を十分に引き出すことができます。よう研鑽に努めているところです」と説明する。

新造船の引渡しを前に、みずほの乗組員は艤装のため造船所に出向いて各機器

より大きく、より速く、より快適に

# ヘリコプター2機搭載型 二代目巡視船みずほ就役

ヘリコプターを2機搭載する大型巡視船、二代目となるみずほが就役した。離島をはじめ周辺海域の治安維持や遠洋での海難救助、大規模災害への対応など高い機動力を生かした幅広い活躍が期待されている

取材：文／中島敦（オンライン）



・装備の搭載や動作確認を行ってきた。  
まずは科長職以上の者が出向き、最長で45日ほど。以降、徐々に他の乗組員も合流し、都合4段階に分かれて準備を進めた。

## 新造船を知り、使いこなす

「初めて採用される機器が多く、レーダーも最新鋭のものが搭載されていますから、一度操作方法のレクチャーを受けても慣れないところは苦労しました」と語るのは松永幸治航海長だ。

「何よりも初めての船ですから舵の効き方や加速具合など、船の特性も分かっていたので、引渡しを受けて最初の航海では関門海峡を通過するのに気を使いました。やはり自分の手で一度操船してみないと把握できない部分がありますからね。途中の安全な海域で意図的に急減速したり低速で航行したり、バウスタスターの効き具合を確認したりと、訓練しながら名古屋港に戻りました」

最新の電子機器の取扱いにも習熟が必



二代続いてみずほの船長を務める原田敬司氏。1万トン級のコンテナ船の曳航や、漁船の船底を切り開いての救助など幅広い経験を持つ。東日本大震災では発災当日に舞鶴を出航、捜索救助に当たった。

要だ。各航海計器を担当する大崎智也主任航海士は23歳。海上保安大学校を卒業し平成30年末に初代みずほに着任してまだ日も浅いが、その若い大崎主任航海士にしても「大学で学んだ知識よりもさらに新しい知識が必要でした」という。見たことのない装備や計器について、「から使用方法の説明を受けた上でマニュアルを作成したが、「前のみずほが特に古い船だったので、二気に装備が変わった印象があります。レーダーや計器等は機能も増えていますから、これらの新しい機器をしっかりと使いこなし、その真価を発揮しなければなりません」と語った。

「電子機器に関しては、若い乗組員の方がスムーズに移行しやすいようです」と松永航海長は言う。「もちろん人によって得手不得手もありますが、電子機器につ





Practice

# 1 曳航訓練

大型船を曳航する際には、もやい銃で相手船にロープを渡し、そこから16mm、20mmと徐々に太いロープを渡し、最終的に95mm径ロープ(長さ400m)で曳航する。しっかりと相手船を狙ってもやい銃を放つことも重要だが、次々と繰り出されるロープが絡むことのないよう、きれいに整えて甲板に並べるなど丁寧な準備が欠かせない。荒れた洋上でも確実に作業できるように訓練を繰り返す。



また、曳航する際の操船にも技術と経験を要する。舞鶴海上保安部時代、1万ト

注意が求められる。  
 大型船を曳航する場合、まず相手船にロープを渡す必要がある。相手船を越えるように、もやい銃を放って細い索を渡し、それを手繰って直径16mm、20mmと段階的に太いロープを送っていくのだ。みずほに搭載される曳航ロープは直径95mm。船上で太く、重いロープを取り扱うには細心の注意が求められる。

新造船ならではの苦労は訓練にも見て取れた。例えば曳航訓練。基本的にやることとはどの船でも同じとはいえ、その船の装備や形状によって細かいことが微妙に変わってくる。55kgもある金属製シャックルでロープとロープを繋いで甲板から降ろす作業では、途中、手順を細かく確認したり修正するシーンも見られた。みずほでの曳航訓練は今回2回目。1回目の訓練を受けて手順を見直し、念入りに訓練計画を立てたのはもちろんだが、さらなる訓練を繰り返して手順を洗練していくことで、乗組員も操作に慣れ、動きもスムーズになり結果、確実に安全な作業に繋がる。

いては若い人の方が興味も持っているし覚えやすい。そういう面では私が彼らに教えてもらうこともたくさんあります。彼らに「自由に触っていいから」というと覚えるのも早いですが、やはり自分で触って動かしてみないと分らないし、困らないと調べないというのもあるでしょう。新造船というのはそういうものです」



訓練を見守る松永幸治航海長。訓練を確認しながら手順や注意点等を見い出してマニュアルの作成を進めている。「文字を読ませるよりも視覚的な構成で分かりやすいものにするのがポイント」とも。

ン級のコンテナ船を曳航した経験を持つ原田船長は、その難しさをこう説明する。「エンジントラブルで動けなくなった1万トン級のコンテナ船を曳航したことがあります。エンジントラブルが発生し、能登半島方面に向かって漂流し始めていた船を舞鶴まで曳航して民間のサルベージ船に引き継いだのです。私自身あの大きさの船を曳航するのは初めてのことでしたが、あれだけの大きさになるとやはりイメージ通りには曳航できないということをも身をもって体験しました。大型船になるほど当然自重もあり、慣性も大きくなります。さらに風潮流など外部からの影響も大きくなりますから、単に引っ張れば良いといった簡単なものではありません。そのためにも我々は普段から訓練を重ねていますが、実際に何万トンもあるような船



Practice

## 2 放水訓練

ホース先端を支える「ノズルマン」とホースを支える「ホースマン」がチームとなって行う消火ホース取扱い訓練。最大0.8MPaの水圧に耐えるために、ノズルマンの後ろに立つホースマンが後方から前に押すようにしてホースを支える。放水先を狙うにはノズルマンの後ろにいるホースマンの連携が重要で、「ホース右!」、「ホース左!」といった号令に合わせてホースマンが左、右と移動する。船には各所に消火栓も設置されているが、他船に移動しての消火や排水作業も見据えてこの日は可搬式ガンリンポンプを使用しての訓練となった。



を曳航する機会はありませんので、貴重な体験になりました」

船を知り、操作や操船の技術を磨くといった「使う側の話」ではなく、そもそもの初期トラブルもある、と松永航海長。

「いい例がお風呂。この船は瞬間湯沸かし器が装備されていて24時間お風呂に入れるというので楽しみにしていたのに、いざお湯を出したらブレーカーが落ちてしまいました。自動車だったら新車を買ってトラブルが出たら頭に来るでしょう?」

でも船の場合は、1年ぐらい経たないと小さなトラブルは収まりません。まだまだこれから出てくると思います」

### 確実な運航を継続するために

船が新しくなっても動かすのは人。機器が最新鋭になったとはいえ、それらを使いこなす、最終的に判断を下すのは一人ひとりの海上保安官だ。それだけに「チームとしての連携を大事にしている」と松永航海長は語る。例えば当直に入った際、そのメンバーの中でしっかりと連携を取り完全に運航できるように心がけ、そのためにも日頃から一人ひとりに目を配り「ミニ二ケーションを密に取って、指導するところはしっかりと指導し、褒めるところはうまく褒めて、乗組員のモチベーションを高め

### 「船の中で架け橋の役割を果たしたい」

主任航海士 大崎智也 OSAKI Tomoya (23歳)

新型のみずほに乗っていちばんに感じた違いは速力が上がったことです。航海計画を立てる際、どこに、何時までに着くという計算をするわけですが、



潮流や天候等の影響で遅れることもあります。それをカバーするためにも、速力向上は大きなメリットです。

操舵装置もバージョンが上がっていて、計器類はすべてデジタル表示になりました。海上保安大学校で学んだ知識にもないような機器もあり、大幅に多機能化されています。ただ、ひとつの画面に多くの機能が詰まっているので直感的に分かりづらい面があるのと、故障したときの対応が困難という点はデメリットかもしれません。

主任以上になると浴室も別になりますし、新しいだけに非常に快適です。ただ私は若い乗組員と一緒に風呂に入ったりして、なるべく話しやすい環境を作っていくことを心がけています。現場に出て2年目ですから業務に関してはまだまだ足りない部分もありますが、海技、船の知識を中心に、どんどん教えていきたいと考えています。

この船も、やはり30代の海上保安官は圧倒的に少ない。上の方と若い海上保安官では親子ほども歳が離れているので、架け橋としての役割を果たしていきたいと思っています。

### interview



interview

「今、みずほでできることをひとつずつ増やしていきたい」

航海士補 川角朱音 KAWASUMI Akane (21歳)

令和元年9月に海上保安学校を卒業し、10月、みずほに着任しました。ちょうど航海中でしたので、ヘリコプターで乗船しました。最初は海に囲まれてポツンと見えていたのですが、近づくにつれてその大きさに驚きました。洋上ではあまり比較する物がありませんでしたが、港に帰っていざ陸に上がってみたら高さもあって改めて驚きました。

いきなり洋上で着任ですから何かあっても降りられない状況でしたが、幸い船酔いもありませんでした。同室の先輩に翌日の予定を教えていただき、何が必要かを確認する日々です。最初の航海では言われたことをやり、それを何度も繰り返しながら自分で考え判断するように努めました。2回目からは自分で判断して上司や先輩に確認するよう心がけ、組織での報告、連絡、相談の重要性を学んでいる最中です。

真新しい船ですし、女性用トイレや浴室、洗濯乾燥機など一つの部屋にまとめられているのでとても快適です。正直、まだ知識も技術も足りないで自分一人のできる仕事はあまりないのですが、清掃は自分で判断して実行しています。そ

うしていると「毎日続けてるね」と声をかけてくれ、見てくれる人と嬉しい気持ちになります。



しるさん。

「ぶっついても私、普段から叱りすぎじゃないんですよ。私の時代は叱られ怒鳴られて育ちましたが、今はそういう時代ではないし、褒めるとやはり喜ぶんですよ。それに若い人と接すると、「なるほど。こういうことを知っているのか」と逆に感心させられることもあり、私の方も彼らから吸収しようという気持ちで接しています。大きな船では特に、自分のことを歯車のひとつのよう感じて「やらなれている」と思ってしまうがさです。だからこそ油を差してあげないと、と意識しています」



時には1ヶ月にも及ぶ航海で楽しみのひとつとなる食事。乗組員の食欲や好みに目を配り、残ることのないよう、そして足りないことのないよう気を配る。航海中、同じメニューが出ることはないという。

Practice

3 操船訓練

小回りが利き、狭い場所にもアプローチでき、救助の現場でも機動力を発揮する警備救難艇。二代目みずほ就役以来、本船の操作に慣れてきた今、若手海上保安官を中心に警備救難艇の操船訓練にも力を入れている。





海上保安学校船舶運航システム課程機関コースに入学し、卒業後は宮城分校で半年間整備の勉強をしました。無事に研修を終えて2018年9月に初代みずほに配属され、実際のヘリコプターを目の当たりにしたときは、

「この機体で勉強も兼ねて整備士としての経験を積んでいくんだ」という気持ちになったのを覚えています。

整備作業している中で最初に突き当たった壁がマニュアルです。すべて英語で書かれていて、しかも日常英会話ではなく専門用語が溢れている。自分で辞書を引くのはもちろんですが、上司に質問したりしながら徐々に、「ああ、ここはこういうことが書かれているんだな」と理解できるようになり、達成感を味わうこともできました。

船は変わりましたが機体はベル412のままなので変わりありませんし、整備作業としてやることは一緒です。ただ、格納庫からの引き出し方法や搭載方法は変わりました。特に燃料搭載は前の船の方が慣れていた分、やりやすかったと思うことはあります。とはいえ慣れの問題ですから、慣れていけばもっと迅速に、高い精度で行えると思います。

私は船酔いもありませんし、今後も船で働きたいと思っています。まずは二等航空整備士の資格を取り、各機体ごとの免許を取っていきたくて考えています。

整備士補

秋本優祐

AKIMOTO Yusuke (28歳)

### 「新しい船でもより精度を高め迅速な作業を心がけたい」

一人ひとりの海上保安官が自らの役割を理解し、きっちりと役割をこなすことで、この大きな巡視船は動いている。原田船長は言う。

「巡視船の乗組員ですから、海上保安庁の『正義仁愛』という理念の下に、使命と誇りをしっかりと持たなければなりません。乗組員にはいつも、目配りと気配りと思いやりの気持ちを持って、「丸」となってしっかりと仕事に取り組みなさい」と言い聞かせています。それが正義仁愛に繋がっていくのだと思います。

初代みずほから引き継いで二代みずほ

ほの船長をさせていただいている荣誉と幸運を、ありがたいたいことだと思います。乗組員も皆、初代みずほの船名を引き継ぎ、変わらず名古屋を母港にし、恵まれていると思っていますので、この幸運を強く意識して、これからも任務をしっかりと果たしていきたいと思っています。私自身、みずほという船名、稲穂が実る豊かな国というみずほという名前が大好きですから、名前に恥じないように乗組員と一緒に、一致協力して仕事をしていきたいと思っています。」



Practice

#### 4 自給式呼吸器装着訓練

船倉などで酸欠によって意識を失った人を救助する際に使用する自給式呼吸器の装着訓練は2名1組で行う。エアの漏れがないこと、ハーネスの端末をしっかりと処理していることなどを入念に確認する。



# 異常気象で海面水位が4メートル上昇 近未来を舞台に救助の現場を描く

巡視船みずほの引渡式には、小森陽一氏と藤堂裕氏が来賓として出席されました。  
『海猿』や『トッキュー!!』など、数々のヒット作を生み出してきた小森氏は現在、藤堂氏とのタッグで近未来の海上保安官の姿を描く『BORDER66』を連載中です。新たなワールドに挑むおふたりに、海上保安官への思いを伺いました。

——小森さんはこれまでリアルな海上保安官の姿を書いてこられました。今度の作品『BORDER66』は近未来が舞台ですね？

小森…はい。レスキューや警備さらにはサルページまで、海をテーマにした作品を色々手掛けてきてもう書くことは残ってないと思っていました。自分はやり尽くした、と。読者の方や編集者さんから「いつかまたトライして欲しい」という声はいただいています。したが、具体的に何をテーマにするか思い至らずにいました。でも近年、とんでもない量の雨が降ったり、大型の台風が発生したりして「想定外」とか「観測史上初」とか「何十年に一度の」といった言葉を毎年のように聞くようになり、気になって地球温暖化について調べ始めたら、海面水位の上昇など物語のアイデアがむくむくと湧き上がってきました。それが出発点です。

——現在進行中の近未来に、救助というテーマを織り込んだわけですね？

小森…大きくは人の命の救助。それにもうひとつ、地球の救助という二つのテーマを柱に物語を展開させていこうと思っています。水位が4メートル上がった世界でどんな



小森 陽一  
KOMORI Yoichi

1967年生まれ、佐賀県出身。大阪芸術大学芸術学部映像学科卒。映画、テレビ番組の制作を経て作家となる。映画化された代表作『海猿』を始め、『トッキュー!!』など、海上保安官を題材とする作品も多い。2008年第1回海洋立国推進功労者表彰受賞。『S-最後の警官-』でタッグを組んだ藤堂裕氏と共にグランドジャンプ(集英社)にて『BORDER 66』を連載中。

藤堂 裕  
TODO Yutaka

1979年生まれ、兵庫県出身。東京工芸大学画像工学科卒。2002年『スーツマン』(ビッグコミックスペリオール)で漫画家デビュー。2003年に『若宮少年探偵団』が第23回ヤングジャンプ月例MANGAグランプリにて佳作を受賞。主な作品に『由良COLORS』、『信長を殺した男〜431年目の真実〜』、そして小森氏原作の『S-最後の警官-』など。

スキューが展開されるのか？ そんな世界を作品にするには漫画家が重要な鍵になりますから、無理を言って藤堂君を口説きました。どうしてもやって欲しいと。

——見たことのない、海面水位が4メートル上がった世界を描くわけですが、話が来たとき藤堂さんはどう思われましたか？

藤堂…小森さんが『BORDER66』を企画されているのは聞いていて、まあ自分だったらどう描こうかと勝手に想像はしていました。4メートル水位が上がった世界をイメージするために自転車で東京湾のベイエリアを走り回りながら、ここは海抜何メートルなのか、4メートル水位が上がったらどうなるだろうかと、ね。4メートルつてちょっと微妙で、10メートル、20メートルなら家も沈んでしましますが、4メートルだと玄関の上ぐらいまでとか、逆にこれまであまり描かれたことのない画になるだろうと思っています。

小森…藤堂君はそうやって自分で走り回ったり船で川を上ったり下ったりしながら、画を自分の方に引き寄せていく。だから迫力のある画になるんです。

——原作者と漫画家の方の共同作業は具体的にどのように進められるのでしょうか？

藤堂…僕と小森さんはかなり密にやらせていただいています。

小森…作品や人にもよるのでしょうけれども。以前『S-最後の警官-』という作品と一緒に組みましたが、もう大変ですよ、藤堂君と組むと(笑)

藤堂…いえいえ。それはこちらのセリフです。

# 人を殺す話ではなく、人を助ける話を書きたい

小森…作品二話が仕上がるまでにもう、4回も5回も当然のように描き直しをします。ネームで下書きを書き上げて、それからもさらに手を加えていくので大変です。

「トッキュー!!!」の時もそうでしたが、僕は漫画家さんも含め海上保安官の方と絡みに行ったり、付き合いを重ねていく中で相手のちよとした仕草とか目の動きとか、箸で料理をどう掴まむのかとか色々なものを見て、そこからキャラクターを膨らませていきます。で、血液型や性格好などキャラクターを想像して書くじゃないですか。それを藤堂君が実際に画にし戻してきてくれると、今度はその画から受け取るイメージがたくさん湧いてきて、「ああ、こいつだったらこう動くよな」とか「こう喋るよな」とか、画を見ながらどんどん肉付けしていく。

——本当に共同作業ですね。  
小森…そうです。

——小森さんが元々、海上保安官に興味を持たれたきっかけは何だったのでしょうか？

小森…もう20年以上も前の話ですが、人を残酷に殺す物語が世の中に非常に多いと感じていて、そうではなく人を命がけて助ける方の話を書きたいという思いがありました。当時は海上保安庁についてあまり知識はありませんでしたが、海に浮いているあの白い船の人達はどんな仕事をしているのだろうと、その良く知らない海上保安庁と人を助けるということがひとつに合わさったような気がします。

最初ほとんどかく話を聞かせてくださって出かけていって、半年ぐらいは追返されていました。当時は本庁も広報室は小さくて、行けば「何しに来た？」って感じですよ。自分は当時テレビのディレクターをしていてNHKの名刺はありましたが、「これは違う仕事だから」と使わなかった。そうすると自分を証明するものが何もない。それでもよく皆さんが付き合ってくれ、通ううちに内側に入れてく

れたのだと思います。藤堂…僕はまだ海上保安庁の方と付き合いが短いですが、皆さんを見て、とにかく海のヒーローを描きたいと思っています。

——それはやはり、強い、救助をする人という意味でしょうか？

藤堂…強いのは当たり前ですが強い意志。人を助けて、自分も必ず戻ってくるという、その強い意志ですね。それがもう、海上保安官の身のことだけでなく眼差しにも表れていると思います。飲んでいるときはすごく盛り上がりつつ楽しい。でも、引渡式ではピシッと身じろぎひとつない。あの切り替えを見て、も、全身が意志で統ざれていると感じます。小森…ああいうのを見るともう、飲んでいるときとは別人だと思っていますね。

藤堂…飲んでいるときは「藤堂くん」なんてふざけていた人が、いきなりピシッ！ですからね。小森…微動だにしない。あのメリハリ、格好いいですね。それに、優しいとか暖かいというのを強く感じます。これまで数多く色々な組織を取材してきましたが、海上保安庁の人達は本当に暖かい。物語を書いていて、一度も「これ、書かないでくれ」って言われたことがない。そんな組織、他にはありませんよ。「本当の話をするから、あとは取捨選択してくれ」と。

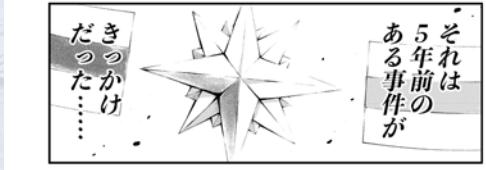
——それはやはり信頼を得ているからでは？  
小森…もちろん積み重ねてきた信頼もあるでしょうが、僕は海上保安庁の懐の深さだと思います。現場の人達の言葉はとてつ

もなく重いし、時には想像もしないぐらい簡単な言だつたりもします。そういうものに出会うとハッとします。頭の中で書こうとするのと恰好つけた、よくある感じになるんですよ。それが現場で生の声を拾うと「えっ？」と思うぐらい違う言葉が出てきたりする。そういうのに出会うために取材しているのかもしれない。

——最後に、現場で働く海上保安官にメッセージをいただけませんか？  
藤堂…世界情勢も厳しい、水難事故や気候変動による災害も多い。そんな中で海上保安庁の方々が私達の命を守ってくれていることに対して、本当にありがとございますという気持ちです。

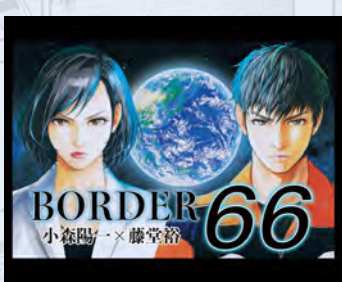
小森…これから船がますます増えていく。一方で世の中の人は減っていく。昔から海上保安官は二人で何役もこなさなければと言われていますが、今後さらに役割が増えていくと思います。本当にお疲れさまですと言いたいです。

——本日はお忙しい中、ありがとございます。  
小森…



それは5年前のある事件がきっかけだった...

それはやはり信頼を得ているからでは？  
小森…もちろん積み重ねてきた信頼もあるでしょうが、僕は海上保安庁の懐の深さだと思います。現場の人達の言葉はとてつ



**BORDER66**  
現在グランドジャンプ (©集英社) で連載中の「BORDER66」。地球温暖化によって海水面が4メートル上昇した近未来を舞台に活躍する海上保安官の姿を描いている。

# NEWS FLASH

## 2月



二管区 八戸  
えんぶりバージョン  
©JCGF



2月5日 音楽隊  
海からの贈り物  
～ウィンターコンサート開催～  
本庁



2月27日  
大学校  
実施 海上保安大学校  
国際交流センター竣工式を

## 12月



©JCGF  
海上保安庁音楽隊バージョン



12月15日 鹿児島保安部  
40年間ありがとう巡視船おすみ  
十管区最後の一般公開&出港式



12月24日 江差保安署  
巡視船かむい特製  
クリスマスケーキ  
一管区



# 「118番」周知グッズ!



ポスター



クリアファイル



リーフレット



ポケットティッシュ



マシュマロ



缶バッジ

海の「事件・事故」は

# 118番

# 全国各地で「118番」を周知!



市役所 (銚子)



水族館 (仙台)



駅前 (札幌)



ラジオ出演 (舞鶴)



駅前 (広島)



商店街 (神戸)



空港 (那覇)



駅前 (境港)



水族館 (福岡)

## 「118番」の認知度調査!



駅前 (鹿児島)



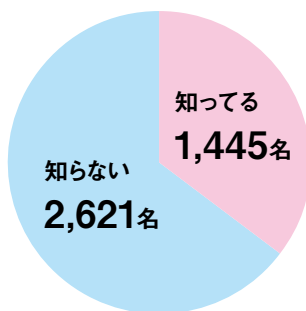
ショッピングモール (釜石)



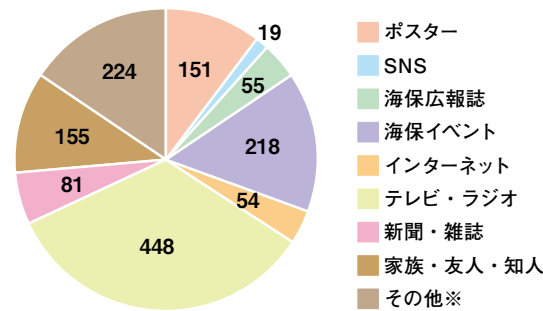
ショッピングモール (大垣)

### 認知度調査結果 調査人数4,066名

#### 118番の認知度



#### 118番を知ったきっかけ (単位:名)



©JCGF

# 1月

一管区 北海道  
アイスホッケーバージョン

#### ※その他内容

- ・釣り中に海上保安官から教えてもらった
- ・書籍 (漫画など)
- ・小型船舶の講習など
- ・海保以外のイベント
- ・どのように認知したか不明
- ・学校の授業
- ・巡視船のライトメール など

## 海上保安大学校・海上保安学校採用試験

海上保安庁では、当庁の職員の養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、最寄の海上保安部または海上保安庁総務部教育訓練管理官付学校教育係（Tel.03-3580-0936）までお気軽にお問合せください。

### 2020年度 採用試験日程



#### 海上保安大学校 学生採用試験

受付期間 2020年8月27日(木)～9月7日(月)  
第1次試験 2020年10月31日(土)11月1日(日)  
ホームページ <http://www.jcga.ac.jp/>  
受験案内(募集要項)配布時期：2020年6月17日(水)

#### 海上保安大学校とは？

海上保安庁の幹部職員として、必要となる高度な学術・技能を教授し、併せて心身の練成を図ることを目的として広島県呉市に設置された海上保安庁の教育機関です。

#### 海上保安官採用試験

NEW!

受付期間 2020年3月27日(金)～4月8日(水)  
第1次試験 2020年6月7日(日)  
ホームページ <https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/top.html>  
受験案内(募集要項)配布時期：配布中

海上保安庁の幹部となる職員を養成するため  
大学卒業者を対象とした新たな試験です。



#### 入学すると・・・

国家公務員としての身分が与えられ、毎月給与や期末手当、勤勉手当が支給されます。また、国土交通省職員として、国土交通省共済組合員としての社会保障を受けることができます。

入学金・授業料は一切不要です。また、学生生活に必要な制服や寝具等はすべて貸与されます。



#### 海上保安学校 学生採用試験 (特別)

受付期間 2020年3月27日(金)～4月3日(金)  
第1次試験 2020年5月10日(日)  
ホームページ <https://www.kaiho.mlit.go.jp/school/>  
受験案内(募集要項)配布時期：配布中

※募集する課程は、船舶運航システム課程のみです。

#### 海上保安学校 学生採用試験

受付期間 2020年7月21日(火)～7月30日(木)  
第1次試験 2020年9月27日(日)  
ホームページ <https://www.kaiho.mlit.go.jp/school/>  
受験案内(募集要項)配布時期：2020年6月17日(水)

#### 海上保安学校とは？

海上保安庁の各分野における専門の職員を養成するために京都府舞鶴市に設置された海上保安庁の教育機関です。

採用試験時に以下の5つの課程のいずれかを選択します。

- 船舶運航システム課程
- 航空課程
- 情報システム課程
- 管制課程
- 海洋科学課程

## 門司分校 (有資格者)

海上保安庁では、船舶、航空機や無線通信等の有資格者の方を対象とした、採用試験を実施しています。採用されると福岡県北九州市にある「海上保安学校門司分校」において、約6ヶ月間の研修を行った後、全国の巡視船艇、航空基地等に配属されます。

試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、海上保安庁総務部人事課（Tel.03-3591-6361）までお気軽にお問合せください。

#### 海上保安官 (有資格者) 採用試験

受付期間 郵送・持参 2020(令和2年)5月下旬から6月下旬頃  
第1次試験 2020(令和2年)7月頃  
※詳細な日程、受験資格等については、  
2020(令和2年)5月下旬頃、  
ホームページに掲載する予定としております。  
ホームページ  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/mojisaiyou-index.html>



海上保安庁ホームページでは採用職種(航海、機関、通信、飛行、整備)の紹介のほか、「採用職員の声」として、これまで本採用試験を経て、採用された職員の現在の仕事内容や入庁した経緯などを多数掲載しています。資格を活かし、海上保安官として活躍してみませんか？



【ホームページ掲載「職員の声(通信・技術)」】

■海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3 Tel. 03-3591-6361 <https://www.kaiho.mlit.go.jp/>  
公式ツイッター [https://twitter.com/JCG\\_koho](https://twitter.com/JCG_koho) 公式ユーチューブ <https://youtube.com/channel/UC3yxhEkCZKaDa-SdzaWECaQ>